

弘前大学学報



平成27年度弘前大学学位記授与式

第 144 号
平成28年3月号

目 次

学内ニュース

| | |
|--|----|
| ○平成 27 年度弘前大学学位記授与式 ----- | 1 |
| ○平成 27 年度弘前大学学生表彰を実施 ----- | 5 |
| ○「弘前大学グリーンカレッジ」平成 27 年度第 2 回ホームルームを実施 ----- | 6 |
| ○弘前大学白神自然環境研究所シンポジウム「自然史情報と市民研究家の活躍」開催 ----- | 7 |
| ○弘前大学理工学研究科と函館工業高等専門学校が学術交流協定を締結 ----- | 8 |
| ○弘前大学研究・イノベーション推進機構「知財塾」を開催 ----- | 9 |
| ○COC+シンポジウムを開催 ----- | 10 |
| ○弘前大学食料科学研究所 『青函の食材を使った料理の魅力「海の幸 青函プラッター」』開催 ----- | 11 |
| ○弘前大学大学院地域社会研究科「国際シンポジウム」を開催 ----- | 12 |
| ○弘前大学公式オリジナルグッズ売り上げの一部を弘前大学生協が寄附 ----- | 13 |
| ○弘前大学永年勤続者表彰 ----- | 14 |
| ○学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム 平成 27 年度弘前市長と加盟大学長との懇談会を開催 ----- | 16 |

| | |
|-------------|----|
| 諸 会 議 ----- | 17 |
|-------------|----|

人 事

| | |
|-------------|----|
| ○人事異動 ----- | 21 |
|-------------|----|

| | |
|------------|----|
| 主要日誌 ----- | 26 |
|------------|----|

| | |
|------------|----|
| 学内規則 ----- | 27 |
|------------|----|

平成 27 年度弘前大学学位記授与式

平成 28 年 3 月 23 日（水）、平成 27 年度「弘前大学学位記授与式」及び「弘前大学大学院学位記授与式」が来賓、関係者出席の下、厳かに行われました。

「弘前大学学位記授与式」は二部制で行われ、第 1 部（人文学部，教育学部）が 11 時から、第 2 部（医学部，理工学部，農学生命科学部）が 13 時 30 分から執り行われました。

始めに、佐藤学長から学位記が各学部の代表学生に授与されたのち、学長による告辞，そして卒業生が答辞を述べ、式典を終えました。

式典終了後は、記念写真を撮るグループや後輩達から祝福を受けるグループなどで、弘前市民会館は祝福ムードでいっぱいとなりました。



平成 27 年度学位記授与式

告辞

弘前大学長 佐藤 敬



例年になく暖かく短かった冬も去り、津軽の地にも春を迎えた今日、ここ弘前市民会館において、多くのご来賓とご家族のご臨席の下、平成 27 年度の学位記授与式を挙行できますことは、私たち弘前大学職員にとって大きな喜びとするところです。

まずもって、本日、卒業の時を迎えられた皆さんに心よりお祝いを申し上げます。皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんがこの日を迎えるに至ったのは、所定の年限を本学に在籍し、必要な単位を取得したことが大前提ではありますが、それ以上にさまざまな経験を積み、それぞれの学問に関する知識や技術においてはもちろんのこと、全人格的に成長した姿をもって社会に旅立とうとしていることに大きな喜びを感じるが故のお祝いを述べたいと思っています。ともすれば皆さんの中には、学生生活に幾何かの後悔を持つ人も居られるかもしれません。例えそうだったとしても、皆さんの眼前に広がる未来はなにもものをも凌駕する可能性を含んでいます。今日の卒業式を新たな努力への第一歩とすべく、すべてを超えて心から互いに祝い合う機会にさせていただきたいと思います。

さて、弘前大学は 1949 年に新制大学として再出発してから 67 年目を迎えようとしています。皆さんが弘前大学に在籍したのはその一部に過ぎませんが、皆さんお一人おひとりの存在は本学の 67 年間に欠くべからざるものであったことは間違いありません。どうか皆さんは弘前大学で学んだことを誇りとして、今後の社会において存分に活躍して下さるよう願って止みません。高等教育機関の役割は教育研究を通して社会の発展に寄与することであり、そのことは、今後の皆さんの活躍を通してこそ達成されるものです。そのことはまた、皆さん自身が充実した人生を送ることにもつながるものと確信しています。

最近になって、地方創生における大学の役割に期待が寄せられるようになり、弘前大学も、県内の多くの大学や、自治体、企業、団体などとの連携の下、青森県の人口減少や経済の後退に歯止めをかけるべく取組を強化しているところです。これまでの弘前大学の卒業生の約 3 割が県内に就職していますが、この割合をもう少し高めることは極めて重要と考えており、さまざまな取組の成果を積み重ねていく必要があります。しかしながら、皆さんの中にはこの機会に青森県を去られる人も少なくありません。さらには、海外で活躍する人も輩出することでしょう。皆さん個々の将来が具体的にいかなるものとなろうとも、我が国社会のリーダーとして活躍する決心をしっかりと持って、社会への貢献を果たしていただきたいと思います。そのことが、ひいては地域社会の発展につながるものと信じます。

皆さんの中に学問が嫌いな人はいないと思いますが、皆さんの大多数が学問を好きだと明確に言えるわけでもないかと推察します。しかし、十分な学問の機会を持つことができなかつた人ほ

ど、学問に対する渴望が強いのではないのでしょうか。その意味で皆さんは、今日まで学問を続けられたことを大きな幸福と受け止め、ご家族や大学の職員、そして社会全体に対する感謝を忘れないでいただきたいと思います。更に言えば、皆さんに限らず全ての人にとって学問の終わりはありません。例え形が変わったとしても、引き続き学問を追求する姿勢を常に思い起こして下さるよう願っています。

終わりに本日卒業する弘前大学生を今日まで支えて下さったご家族の方々、地域の方々をはじめ多くの方々に私からもこの場を借りて感謝したいと思います。大変ありがとうございました。そしてなにより、今日卒業される皆さんお一人おひとりの、今後のご多幸を心からお祈りして、告辞と致します。

平成 27 年度大学院学位記授与式

告辞

弘前大学長 佐藤 敬



例年になく穏やかな冬が足早に過ぎて津軽の地にも春を迎える中、本日ここ弘前大学創立

50 周年会館において平成 27 年度の大学院学位記授与式を挙げていただけますことは、私たち弘前大学職員にとって大きな喜びとするところであります。本日大学院を修了される皆さんに心からお祝いを申し上げます。皆さん、誠におめでとうございます。また、今日までの長きにわたって学び続けてきた皆さんの努力に満腔の敬意を表するものでもあります。しかしながら、私たちを含め全ての人にとって、学びに終わりはありません。毎年述べていることですが、卒業を意味する”**graduation**”は、皆さんが学位というグレードを得ることを意味しますが、もう一つ、始まりを意味する”**commencement**”という英語も日本語の卒業に相当します。すなわち、文字通り学問という生業を終える卒業式ではなく、これから新たな学問が始まるのが学位記授与式であり、学位を得ることは今後の学問への出発点でもあります。修士課程を修了して博士課程に進学する皆さんはもちろんのこと、職業に就く皆さんにとっても、今日が新たな学問への門出となるよう、そして皆さんが引き続き学問を追求する姿勢を忘れないで下さるよう願っています。

我が国の基礎的財政収支の黒字化が目標となる中、高等教育予算も長期にわたって削られてきました。そんな中、弘前大学においても大学経営が大きな課題となっているのは事実です。皆さんはそのようなことに心を砕くことなく、学問を続けて来られたと信じていますが、本学大学院において高度の学問を修めた皆さんが、さらなる研鑽を積み、その成果を社会に還元する努力を継続していくことこそが、我が国における高等教育の地位と価値を高めていくことに他なりません。近く弘前大学は新制大学として 70 年の歴史を刻もうとしており、最初の大学院である医学研究科の設置からはもうすぐ 60 年になります。そのこと自体が大きな社会貢献と言ってよく、また、弘前大学は厳しい環境の中にあって、今後も高等教育機関として力強く教育研究を進めていくことに間違いありません。

また、平成 28 年度から、弘前大学は学部の改組と大学院の充実からなる教育研究組織の再編を行い、これは、社会と時代の要請に応えた本学の在り方を真摯に考え、議論した結果であります。今後も大学院の充実が本学の重要課題としてなお検討を続ける必要がありますが、加えて、皆さんが弘前大学大学院修了者としての成果と誇りをもって社会で大いに活躍して下さることにより、本学の社会的役割も全うされるものと信じています。その意味でも皆さんの未来が輝かしいものであることを祈念して止みません。そしてなにより、本日弘前大学大学院を修了される 261 名の皆さんお一人おひとりの今後のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。告辞と致します。

平成 27 年度弘前大学学生表彰を実施

研究活動や社会活動，課外活動で活躍した学生及び学生団体を表彰する学生表彰授与式を，平成 28 年 3 月 2 日（水）大学会館 3 階大集会室で行いました。

今回の受賞者は，課外活動等で活躍した 6 団体，研究活動や課外活動で活躍した学生 38 名で，表彰式には各研究科長・学部長，指導教員及びサークル顧問の教員も出席し，佐藤学長から学生 1 人ひとりに表彰状と記念品が贈呈されました。

佐藤学長から，「多くの学生が表彰されたこと，喜ばしくそして誇らしく思う。皆さんには大いに誇らしく思っていていただき，一方で更に研鑽を積み，研究活動や課外活動に努力され，より多くの本学学生の模範となってほしい」と学生の功績を讃える言葉が贈られました。

受賞者を代表して，理工学部物質創成化学科 3 年の及川龍二さんが「私たちの日頃の活動が認められ表彰されるということが非常に嬉しく誇りに思う。学内外での活動が，佐藤学長はじめ，多くの大学関係者の方々に支えられているということもあらためて強く感じた。今後も，自分たちが弘前大学の学生であるという誇りと自覚を持って，それぞれの活動に精進していきたい」と謝辞を述べました。



佐藤学長と受賞者ら

「弘前大学グリーンカレッジ」平成27年度第2回ホームルームを実施

平成28年3月4日（金）、弘前大学グリーンカレッジ生（以下「カレッジ生」）を対象に第2回目の「ホームルーム」を行いました。第2回となるホームルームは、第1回で選出されたホームルーム長の進行により実施され、学期を終了しての感想や希望などを伺いました。カレッジ生活の感想として「今回受けた授業のさらに先のことを学びたい」、「授業を担当された先生に大変感謝している」といった感想や、「今年度は試行のため評価はなかったが、来学期には試験を受け評価を受けたい」といった要望などの声が聞かれました。



ホームルームの様子

弘前大学白神自然環境研究所シンポジウム
「自然史情報と市民研究家の活躍」開催

平成 28 年 3 月 4 日（金）に、弘前大学創立 50 周年記念会館みちのくホールにて白神自然環境研究所主催シンポジウム「自然史情報と市民研究家の活躍」が開催されました。県内外 5 名の講演者からは、市民活動が地域の自然史を明らかにしていく上でどのような役割を果たしているのか、実際の活動例や市民活動の今後についてなど貴重な話題提供がありました。本シンポジウムは、青森県、環境省東北地方環境事務所、青森市森林博物館、津軽昆虫同好会、弘前大学白神研究会と白神きのこの会の後援を受けて実施されました。参加者は約 80 名で、パネルディスカッションでは、参加者からも多くの意見や質問が寄せられ、なかでも、大学生を中心とした若い世代からの積極的な発言が多数あり、活発な質疑討論が交わされました。

終了後のアンケートでは、94%の参加者が「大変面白かった」「面白かった」と回答しており、本シンポジウムが多くの参加者の興味を惹ききっかけになったことが期待できます。



パネルディスカッションの様子

弘前大学理工学研究科と函館工業高等専門学校が学术交流協定を締結

平成 28 年 3 月 10 日（木）、弘前大学理工学研究科と函館工業高等専門学校（以下、函館高専）との学术交流に関する協定調印式が函館高専にて執り行われました。

理工学研究科 宮永崇史 研究科長と函館高専 但野茂 校長の協定書への署名後、協定書の交換が行なわれ、協定の締結と成りました。

今後、理工学研究科と函館高専は教育及び学術研究等に関して協力関係を築き、交流を推進していく予定です。



宮永理工学研究科長㊦と但野函館高専校長㊦

「弘前大学ボランティアセンター活動報告会～寄り添って共に歩む～」開催

平成 28 年 3 月 10 日（木）、弘前大学ボランティアセンターは、弘前市との共催で「弘前大学ボランティアセンター活動報告会～寄り添って共に歩む～」をヒロロ 4 階弘前市民文化交流館ホールで開催しました。

当センターでは、東日本大震災発災直後から「チーム・オール弘前」として、岩手県野田村での支援・交流活動をはじめ、様々なボランティア活動を実施してきました。今回の報告会は、当センターの 5 年間のボランティア支援・交流活動を振り返り、これからの活動のあり方を模索することを目的に実施しました。

同報告会は 2 部構成で、市民・学生・教職員を合わせて 61 名が参加。第 1 部は、当センター学生事務局 垣内雅仁さん、市民代表 金玉熙氏、伊藤昭子氏より、野田村支援・交流活動の報告が行われ、続いて、弘前市社会福祉協議会 棟方洋子氏、人文学部 3 年 横山亜美さんより経済的困窮世帯の生徒への学習支援事業についての活動報告が行われました。

第 2 部は、「5 年間の野田村支援・交流活動を振り返って」と題したパネルディスカッションが行われ、当センター学生事務局 垣内雅仁さん、宮川京大さん、弘前市ボランティア支援センター 小田切宰子氏、OB・OG 代表 日野口早希氏、教員事務局 OG 山口恵子氏、市民代表 高橋康男氏をパネリストにお迎えし、様々な立場から活発な討論が行われました。これまで活動に参加してきた市民や学生、教員等からは、「最初の頃は、野田村の被災現場はがれきの山で本当に辛く厳しい活動であったが、野田村の方々とがれき撤去などの活動を一緒に行うようになり、感謝の言葉をいただいた」「少しずつ野田村の方々と交流が持てるようになり、今では、笑顔で出迎えてくれるようになって嬉しい。逆にボランティア活動に参加している私たちが元気をもらっている」などの声があり、終始盛況のうちに終了しました。

なお、平成 28 年度から「チーム・オール弘前」による野田村復興支援・交流活動は、毎月の定期便から 3 ヶ月に一度の活動に切り替え、引き続き行う予定です。



開催の挨拶をする
大河原ボランティアセンター長



活動報告に耳を傾ける参加者の様子

COC+シンポジウムを開催

青森 COC+推進機構（機構長：弘前大学長）は、平成 28 年 3 月 11 日（金）、「COC+シンポジウム」を青森中央学院大学の学術交流会館で開催しました。

このシンポジウムは、平成 27 年度に文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択された「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」の周知と認知度向上を目的に、「大学と地域が協創する青森の未来」をテーマとして開催され、教職員、学生、自治体関係者、企業関係者、県内在住者ら約 200 名が参加しました。

機構長の佐藤敬弘前大学長による挨拶の後、第一部では、文部科学省大臣官房審議官（高等教育局担当）の義本博司氏による基調講演「地方創生と大学」、青森県企画政策部企画調整課総括副参事の丸尾豊氏による報告「青森県における地方創生」、弘前大学 4 年の島中勝司さんと青森中央学院大学 4 年の千葉美輝さんによる「学生メッセージ」の発表が行われました。

続いて第二部では、「大学と地域が共に担う人財育成—学生たちとの地域 [共育] を考える—」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。パネリストを義本氏、丸尾氏のほか、曾我亨弘前大学副理事・人文学部教授、21 世紀型集会所 indriya 代表の大西晶子氏が、コーディネーターを青森 COC+推進機構の吉川源悟氏が務め、各パネリストから青森県の地方創生に貢献できる人財の育成や学生の県内定住への意見が発表された後、参加者との間で活発に意見が交わされました。

また、シンポジウム当日は東日本大震災から 5 年目にあたることから、追悼の意を表し、参加者全員による 1 分間の黙祷が行われました。



佐藤敬 青森 COC+推進機構長（弘前大学長）



文部科学省大臣官房審議官 義本博司 氏

弘前大学食料科学研究所

『青函の食材を使った料理の魅力「海の幸 青函プラッター」』開催

弘前大学食料科学研究所では、青函の食材を使った料理の魅力「海の幸 青函プラッター」を平成28年3月12日（土）、函館市内のホテルで開催しました。

同研究所では、津軽海峡交流圏を核とした北日本の食を移出・輸出し外貨を稼ぐ「北日本食の成長戦略」を提案しており、海の幸プラッターの開発・試食会は、むつ市、青森市に続き、北海道新幹線開業を控え、青函連携が活発に進められている函館市で開催したものです。

講演会では、嵯峨直恆 食料科学研究所長から、「新幹線延伸を機に、青函の豊富な食資源を活用した地方創生に貢献したい」と挨拶があり、引き続き、レストランバスクの深谷宏治シェフにより「美食の街で学んだこと～函館の料理人たちと共に今！～」と題して、同氏のスペイン料理との関わりや「函館バル街」等食文化と地域振興のあり方に関して講演がありました。参加者らは、青函圏の食材の魅力について理解するとともに、青函連携による食のブランド化の必要性や重要性について理解を深めました。

「海の幸 青函プラッター」は、昨年11月に連携協定を締結した函館短期大学付設調理製菓専門学校と共同で青函の食材を使用したメニュー開発を行ったもので、青森陸奥湾産栗ガニやムール貝、北海道函館産アワビ、鹿部産ホタテ、青森産ボタンエビなど7品の海の幸が銀の皿に敷き詰めたクラッシュアイスに鮮やかに盛りつけられたプラッター料理として披露されました。

試食会では、野又淳司 校長から「津軽海峡の食の実力が試される料理を開発した」、工藤壽樹 函館市長から「青函の食のブランド力を高める良い取り組みであり、青函連携の盛り上がりに期待したい」とそれぞれ挨拶が述べられました。

青函の行政や観光関係者ら約100名の参加者らは、今回開発された4種類のソースをつけながら海の幸を堪能しました。

今後も両校の連携により、「津軽海峡グルメコリドール（食通回廊）構想」を推進し、地域の価値を創造する食の総合プロデュースの取り組みが一層強化されることが期待されます。



青函プラッターを囲んで、青森副市長、
函館市長と主催者、講演者



青函産の食材を使用した
「海の幸 青函プラッター」

弘前大学大学院地域社会研究科「国際シンポジウム」を開催

弘前大学大学院地域社会研究科では、平成 28 年 3 月 14 日（月）、弘前大学教育学部大教室において、国際シンポジウムを開催しました。

本シンポジウムは「地域イノベーションに必要な大学と地域との有機的連携とは」をテーマに、地域と連携しながら弘前大学が中心となって新たな研究シーズを創出し、地域イノベーションをアグレッシブに進めていくため海外の先進事例等を含めた情報共有を目的としたものです。

プログラム第 1 部はニューカッスル大学カルメン・ハバード先生 (Lecturer, Research Manager), アン・リドン先生 (Scientific Communication Manager), 内閣府経済社会総合研究所 岩瀬公一総括政策研究官を講師に迎えて基調講演並びに平井太郎 地域社会研究科准教授による事例報告を、引き続き第 2 部では大河原隆 弘前大学社会連携担当理事を迎えて、北原研究科長をコーディネーターに、パネルディスカッションを行いました。

当日は弘前大学長をはじめ、弘前大学理事、本学教職員、学生、地方自治体及び企業団体並びに他大学教員など各方面からの参加があり、様々な意見が交わされました。

最後に、地域社会研究科長から、チーム・専門家・地域の方々との双方向の連携並びに、地域から全国・世界へ発信することの必要性、有機的連携のための財政面及び組織強化の重要性をあらためて実感したこと、本日得られた情報は、今後の弘前大学の大学院改革を含め関連するセンター構想の参考に活かしたい旨の感想が述べられ、閉会しました。



カルメン・ハバード先生による基調講演



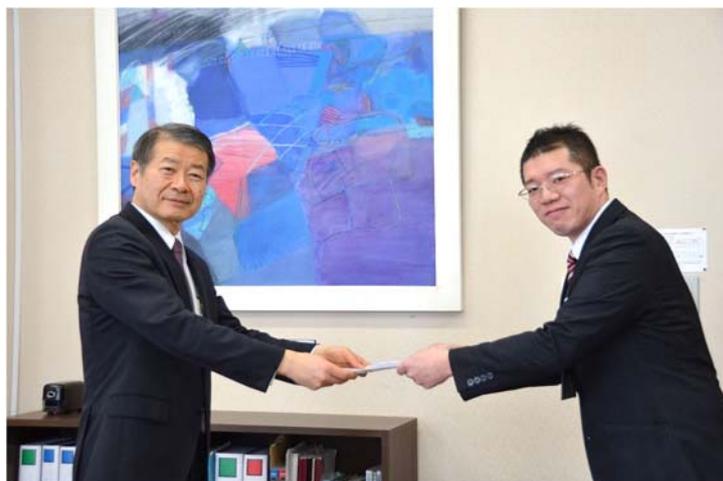
パネルディスカッションの様子

弘前大学公式オリジナルグッズ売り上げの一部を弘前大学生協が寄附

平成 28 年 3 月 15 日（火），弘前大学生協より本学への寄附のお申し出があり，吉澤 篤 企画担当理事に目録が手渡されました。

今回の寄附は，弘前大学公式オリジナルグッズとして販売した「マフラータオル」と「扇子」の売り上げの一部を，弘前大学の教育研究等助成のために役立てて欲しいとして，寄附をいただいたものです。

吉澤企画担当理事からは，「今後も弘前大学の研究成果をよりわかりやすく社会へ還元するため，広報活動等に有効利用させていただきたい。」として謝辞が述べられました。



寄附金目録をいただく吉澤理事[㊟]と弘前大学生協 早川氏[㊟]

弘前大学永年勤続者表彰
～永年の功績を称える～

平成 28 年 3 月 31 日をもって退職される方々及び在職者に対する弘前大学永年勤続者表彰式が、3 月 22 日（火）創立 50 周年記念会館みちのくホールにおいて、理事・部局長等の列席の下に執り行われました。

式典では、佐藤 敬 学長から退職表彰者並びに在職（20 年）表彰者に対し、永年にわたり職務に精励されたその功績が称えられ、表彰状及び記念品が授与されました。

また、退職表彰者を代表して医学部附属病院 藤 哲 病院長から、在職（20 年）表彰者を代表して農学生命科学部 黒尾 正樹 教授から、それぞれ感慨を込めた謝辞が述べられました。

今回、表彰を受けられた方々は次のとおりです。

○退職表彰者 29 名（敬称略）

| | |
|--------------|---|
| 人文学部 | 田中 岩男， 上松 一 |
| 教育学部 | 平岡 恭一， 面澤 和子， 鎌田耕太郎， 小笠原義之 |
| 医学研究科 | 土田 成紀， 奥村 謙 |
| 保健学研究科 | 野田美保子， 祐川 幸一， 樽澤 孝悦， 久保田 護 |
| 医学部附属病院 | 藤 哲， 金沢隆太郎， 成田 幸子， 中嶋 裕子， 垣内 悦子， 小山内ひさ子， 塚本由記子， 對馬 桂子， 川原田寧子， 西澤由美子， 福士 友子， 伊藤賀津子 |
| 理工学研究科 | 深瀬 政秋， 喜多 昭一 |
| 農学生命科学部 | 大町 鉄雄， 武田 共治 |
| 北日本新エネルギー研究所 | 古屋 泰文 |

○在職（20 年）表彰者 36 名（敬称略）

| | |
|---------|---|
| 総務部 | 秋元 弓子， 佐藤 順志， 熊澤 祐樹 |
| 財務部 | 山田 佳之， 成田 順一 |
| 学務部 | 工藤 良子 |
| 施設環境部 | 中島 誠 |
| 人文学部 | 李 良， 今井 正浩， 曾我 亨， 関根 達人， 泉谷 安規， 福眞 吉教 |
| 教育学部 | 安田奈津子， 佐藤 育世 |
| 医学研究科 | 佐々木賀広， 盛 和行， 渡邊 誠二， 三上結美子 |
| 医学部附属病院 | 青木 昌彦， 佐藤 哲観， 清野 守央， 成田 優子， 柿崎 和子， 小菅 恵子， 松木和歌子， 成田智栄美， 工藤久美子 |
| 理工学研究科 | 長瀬 智行， 野田 香織， 荒木 宏孝 |

農学生命科学部 黒尾 正樹，伊藤 大雄，佐藤 崇，長谷川良孝
生涯学習教育研究センター 藤田 昇治



退職表彰者代表 医学部附属病院 藤 哲 病院長



在職（20年）表彰者代表
農学生命科学部 黒尾 正樹 教授



退職表彰者との記念撮影



在職(20年)表彰者との記念撮影

学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム
平成 27 年度弘前市長と加盟大学長との懇談会を開催

弘前大学を含む弘前市内の 6 大学が加盟している学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム（事務局：弘前大学）では、「平成 27 年度弘前市長と加盟大学長との懇談会」を平成 28 年 3 月 30 日（水）に弘前学院大学 4 号館第三会議室で開催しました。

この懇談会は、本コンソーシアムの地域における役割や、実施事業の方向性などを協議する場として毎年開催されているもので、今回は「学園都市ひろさきの持続的発展について～青函交流圏時代の大学コンソーシアムのあり方について～」をテーマに弘前市長と弘前市内 6 大学の学長等が意見交換を行いました。

葛西憲之弘前市長は、「弘前市は 20～24 歳世代定着率が特に低く、地域への定着率を上げていくかが大きな課題である。対策の一つとして、観光対策は早急に効果をあげられ、交流人口を拡大する。今後は観光について考えられる人材の輩出が求められる。北海道新幹線開業に伴い、弘前市は青森市、八戸市、函館市と連携し、新幹線開業を活用した観光対策を実施していきたい」旨の考えを述べていました。

20～24 歳世代の定着率が低い問題について、「青函圏連携の中で、志願者の確保、地域の人材となる学生の確保に取り組んでいきたい」「ひろさきコンソーシアムとして、新幹線効果を利用し函館市を含む道南地域との連携強化を図り、弘前の魅力をアピールしていくことが効果的ではないか」また、交流人口拡大（観光対策）の問題について、「大学も観光政策に関わる人材の育成に力をいれ、その一環で、学生を実践で育成する場をコンソーシアムが提供していきたい」「観光客を呼び込むためにも、弘前市に観光列車などの導入を検討していただきたい」という意見がでました。

本コンソーシアムでは、28 年度も弘前市の協力を得ながら、各機関の交流を深めるとともに、地域課題解決にも関連する各種事業を実施していく予定です。



佐藤弘前大学長㊦と葛西弘前市長㊦



懇談会の様子

諸会議

▼役員会

3月7日（月）

審議事項

1. 弘前大学苦情処理室室員の推薦について
2. 職員の懲戒等について
3. 弘前大学名誉教授称号授与について
4. 平成28年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
5. 行政不服審査法の改正に伴う学内規程の整備について
6. 国立大学法人管理運営規則の一部改正等について
7. 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について
8. 国立大学法人弘前大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領について
9. 国立大学法人弘前大学事務組織規定等の一部改正について
10. 弘前大学における授業科目の履修登録単位数の上限に関する規程の制定について
11. 弘前大学学生特別支援室規程等の制定について
12. 東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除について
13. 弘前大学研究・イノベーション推進機構規程の改正について
14. 国立大学法人弘前大学間接経費にかかる執行指針（案）等について
15. 寄附講座の設置及び寄附講座の設置期間延長について
16. 弘前大学 COI 研究推進機構専任教員の選考結果について
17. インドネシア・ボゴール農科大学との大学間交流協定の締結について
18. カナダ・マウントロイアル大学との大学間交流協定の変更について

報告事項

1. 第3期中期目標・中期計画について
2. COC+シンポジウムの開催について
3. 弘前大学大学生の海外渡航に伴う危機管理対応マニュアルの策定について
4. 平成28年度弘前大学特別研究員の採択（継続）について
5. 「大学の地域貢献度に関する全国調査」について
6. 標的型攻撃による情報漏洩への対策について
7. （仮称）深浦町エコサテライトキャンパスについて
8. 被ばく医療プロフェッショナル育成計画の事後評価結果について
9. 国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第12回追跡調査について

3月14日（月）

審議事項

-
1. 平成 28 年度弘前大学当初予算（案）について
 2. 平成 28 年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について

3月28日（月）

審議事項

1. 特任教員の選考についてについて
2. 職員の懲戒等について
3. 国立大学法人弘前大学における反社会的勢力に対する基本方針の制定等について
4. 国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程の一部改正について

報告事項

1. 教職大学院の記者会見について
2. 事務局棟改修工事について
3. 元農林水産大臣政務官 横山信一参議院議員 特別講演会「海と陸からの恵み 日本の食の最前線！」の開催について
4. 平成 28 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブへの申請について

その他

1. 4月1日就任予定の役員等について
2. 弘前労働基準監督署による是正勧告の取り下げについて

▼教育研究評議会

3月8日（火）

審議事項

1. 弘前大学苦情処理室室員の推薦について
 2. 平成 28 年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
 3. 国立大学法人弘前大学教育研究院教員選考規程の一部改正について
 4. 国立大学法人管理運営規則の一部改正等について
 5. 国立大学法人弘前大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領について
 6. 弘前大学における授業科目の履修登録単位数の上限に関する規程の制定について
 7. 弘前大学学生特別支援室規程等の制定について
 8. 弘前大学入学試験委員会規程等の一部改正について
 9. 東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者の検定料の免除について
 10. 弘前大学研究・イノベーション推進機構規程の改正について
 11. 本学の研究推進、産学連携等に係る経費について（案）
 12. 国立大学法人弘前大学間接経費に係る執行指針（案）等について
 13. 弘前大学名誉教授称号授与について
-

14. 寄附講座の設置、及び寄附講座の設置期間延長について

報告事項

1. 弘前大学創立 70 周年記念事業について
2. 教員の採用等について
3. 第 3 期中期目標・中期計画について
4. COC+シンポジウムの開催について
5. 平成 27 年度弘前大学利益相反セミナーの開催について
6. 弘前大学学生の海外渡航に伴う危機管理対応マニュアルの策定について
7. 平成 28 年度弘前大学特別研究員の採択（継続）について
8. 標的型攻撃による情報漏えいへの対策について
9. 被ばく医療プロフェッショナル育成計画の事後評価結果について
10. インドネシア・ボゴール農科大学との大学間交流協定の締結について
11. カナダ・マウントロイヤル大学との大学間交流協定の変更について
12. 国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 12 回追跡調査について
13. 寄附講義の開設について
14. 委員会等報告
 - (1) 教育委員会報告（3 月 2 日開催分）
 - (2) 入学試験委員会報告（2 月 12 日開催分）
 - (3) 21 世紀教育センター運営委員会報告（2 月 18 日開催分）

▼教育委員会

3 月 2 日（水）

審議事項

1. 学生による授業評価に関するアンケート調査のあり方について
2. 学生特別支援室規程等の制定について

報告事項

1. 第 11 回学生相談を考える会について
2. 課外活動団体結成について

3 月 30 日（水）

審議事項

1. 平成 28 年度弘前大学教育委員会委員及び組織（役割分担）について
2. 学生による授業評価に関するアンケート調査のあり方について

報告事項

1. 第 2 期中期目標期間中の「学生による授業評価に関するアンケートの総合的評価について
2. 平成 28 年度入学者 弘前大学ゆめ応援プロジェクト決定者数について

-
3. 「生活指導研修会」の開催について
 4. 学内ワークスタディ懇談会について
 5. 平成 27 年度保護者・保証人アンケート集計結果について
 6. 平成 27 年度学生ボランティア活動助成報告について
 7. 課外活動団体の結成について

人 事 異 動

[任期更新]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|------------|--|-------|---|
| H28年03月01日 | 准教授(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) | 古郡 規雄 | 准教授(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) [H35.2.28まで] |
| H28年03月01日 | 教諭(教育・附小) | 前田 祥貴 | 教諭(教育・附小) [H28.3.31まで] |
| H28年03月16日 | 助教(医学系(基礎医学領域)／大学院医学研究科附属高度先進医学研究センター専任担当) | 丸山 敦史 | 助教(医学系(基礎医学領域)／大学院医学研究科附属高度先進医学研究センター専任担当) [H33.3.15まで] |

[配置換え]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|------------|------------------------------|-------|--|
| H28年03月29日 | 助教(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) | 田中 佳人 | 助教(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) [H33.3.28まで] |

[育児休業]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|------------|-------------|--------|---------------------|
| H28年03月09日 | 看護師(病院・看護) | 泉谷 葉月 | 育児休業開始 [H30.3.31まで] |
| H28年03月15日 | 助産師(病院・看護) | 對馬 悠夏 | 職務復帰 |
| H28年03月17日 | 事務職員(研推・研推) | 古川 和佳子 | 育児休業開始 [H29.3.31まで] |
| H28年03月23日 | 看護師(病院・看護) | 亀岡 裕美 | 育児休業開始 [H29.9.30まで] |

[休職]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|------------|-------------------------------------|-------|-------------------|
| H28年03月01日 | 主任(医) | 和田 丈稔 | 復職 |
| H28年03月08日 | 教授(自然科学系(安全システム工学領域)／大学院理工学研究科専任担当) | 児玉 安正 | 期間延長 [H28.5.23まで] |
| H28年03月12日 | 事務職員(医) | 石川 直哉 | 復職 |
| H28年03月23日 | 副看護師長(病院・看護) | 山田 朋子 | 復職 |
| H28年03月29日 | 助教(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) | 藤田 雄 | 復職 |

[離職]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|------------|----------------------------------|--------|------|
| H28年03月05日 | 看護師(病院・看護) | 山本 夏菜子 | 辞職 |
| H28年03月30日 | 教授(人文社会・教育学系(社会科学領域)／国際連携本部専任担当) | 和氣 太司 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 事務部長(病院) | 寺坂 和記 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 宮繕手(教育) | 小笠原 義之 | 定年退職 |

| | | | |
|------------|---|---------|------|
| H28年03月31日 | 教授(人文社会・教育学系(人文科学領域)／人文学部専任担当) | 田中 岩男 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 教授(人文社会・教育学系(教育・芸術領域)／教育学部専任担当) | 平岡 恭一 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 教授(人文社会・教育学系(教育・芸術領域)／教育学部専任担当) | 面澤 和子 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 教授(人文社会・教育学系(教育・芸術領域)／教育学部専任担当) | 鎌田 耕太郎 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 教授(医学系(基礎医学領域)／大学院医学研究科専任担当) | 土田 成紀 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 教授(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) | 水沼 英樹 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 教授(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) | 高井 良尋 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 教授(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当) | 野田 美保子 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 教授(自然科学系(安全システム工学領域)／大学院理工学研究科専任担当) | 深瀬 政秋 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 教授(自然科学系(農学・生命科学領域)／農学生命科学部専任担当) | 比留間 潔 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 教授(自然科学系(農学・生命科学領域)／農学生命科学部専任担当) | 大町 鉄雄 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 教授(地域イノベーション学系(戦略的融合領域)／北日本新エネルギー研究所専任担当) | 古屋 泰文 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 教授(地域イノベーション学系(戦略的融合領域)／食料科学研究所専任担当) | 嗟峨 直恆 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 准教授(人文社会・教育学系(人文科学領域)／人文学部専任担当) | 上松 一 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 准教授(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当) | 祐川 幸一 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 准教授(自然科学系(機能創成科学領域)／大学院理工学研究科専任担当) | 喜多 昭一 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 准教授(自然科学系(農学・生命科学領域)／農学生命科学部専任担当) | 武田 共治 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 講師(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当) | 樽澤 孝悦 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 主任診療放射線技師(病院・医技) | 金沢 隆太郎 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 看護師長(病院・看護) | 垣内 悦子 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 看護師長(病院・看護) | 成田 幸子 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 看護師長(病院・看護) | 中嶋 裕子 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 副看護師長(病院・看護) | 塚本 由記子 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 副看護師長(病院・看護) | 小山内 ひさ子 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 川原田 寧子 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 三浦 恒子 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 西澤 由美子 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 伊藤 賀津子 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 福士 友子 | 定年退職 |
| H28年03月31日 | 病院長 | 藤 哲 | 任期満了 |
| H28年03月31日 | 監事 | 北川 順一 | 任期満了 |
| H28年03月31日 | 事務職員(研推・研推) | 古川 亜湖 | 任期満了 |
| H28年03月31日 | 事務職員(研推・研推) | 浅利 敦子 | 任期満了 |
| H28年03月31日 | 事務職員(保) | 細野 拓也 | 任期満了 |
| H28年03月31日 | 助手(医・地域がん疫学講座) | 秋元 直樹 | 任期満了 |

| | | | |
|------------|--|--------------|------|
| H28年03月31日 | 教諭(教育・附小) | 前田 祥貴 | 任期満了 |
| H28年03月31日 | 財務部長 | 津久井 賢 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 学務部長 | 伊藤 康志 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 研究推進部長 | 山崎 淳一郎 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 企画課長(総務) | 玉田 邦彦 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 施設企画課長(施設) | 森屋 昭則 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 環境安全課長(施設) | 佐藤 孝記 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 医事課長(病院) | 佐藤 悟 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 主任(理工) | 吉田 富嗣 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 主任(病院・経企) | 池田 健 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 事務職員(病院・医事) | 久保 貴子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教授(人文社会・教育学系(教育・芸術領域) / 教育学部専任担当) | 花屋 道子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教授(医学系(臨床医学領域) / 大学院医学研究科専任担当) | 奥村 謙 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教授(医学系(保健科学領域) / 大学院保健学研究科専任担当) | 真里谷 靖 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 准教授(人文社会・教育学系(教育・芸術領域) / 教育学部専任担当) | 平田 淳 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 准教授(医学系(臨床医学領域) / 大学院医学研究科専任担当) | 豊木 嘉一 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 准教授(医学系(臨床医学領域) / 大学院医学研究科専任担当) | 二川原 健 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 講師(人文社会・教育学系(社会科学領域) / 教育学部専任担当) | 田中 勝則 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 講師(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当) | 森本 武史 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 講師(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当) | 佐藤 哲観 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 講師(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当) | 榊 宏剛 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 講師(人文社会・教育学系(人文科学領域) / 教育推進機構教養教育開発実践センター専任担当) | SANDU ROXANA | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(基礎医学領域) / 大学院医学研究科専任担当) | 吉澤 忠司 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(基礎医学領域) / 大学院医学研究科専任担当) | 佐藤 次生 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(基礎医学領域) / 大学院医学研究科専任担当) | 小野 久弥 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(基礎医学領域) / 大学院医学研究科附属高度先進医学研究セ | 丸山 敦史 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(臨床医学領域) / 大学院医学研究科専任担当) | 鴨井 舞衣 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(臨床医学領域) / 大学院医学研究科専任担当) | 村上 洋 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当) | 神 寛之 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当) | 赤坂 治枝 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当) | 吹田 淑子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当) | 遠瀬 龍二 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当) | 泉山 圭 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当) | 山形 聡 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助教(医学系(保健科学領域) / 大学院保健学研究科専任担当) | 久保田 護 | 辞職 |

| | | | |
|------------|--|---------|----|
| H28年03月31日 | 助教(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当) | 赤池 あらた | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(基礎医学領域)／大学院医学研究科専任担当) | 佐藤 諭 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) | 大石 将文 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) | 岩村 大径 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(基礎医学領域)／大学院医学研究科附属高度先進医学研究センター専任担当) | 根岸 美香 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医・地域総合診療医学推進学講座) | 羽賀 敏博 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 速水 史郎 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 工藤 周平 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 小山 智教 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 千代谷 真理 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 服部 薫 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 千葉 大輔 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 小島 由太 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 藤田 尚紀 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 三上 穰太郎 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 佐藤 天童 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 小林 麻美 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 西村 雅之 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 葛西 俊範 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 小笠原 尚志 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 吉田 枝里 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) | 角田 聖英 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 副校長(教育・附小) | 三浦 正志 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 副校長(教育・附中) | 笹 日出美 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教頭(教育・附中) | 松本 毅 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教諭(教育・附幼) | 長谷川 美智子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 養護教諭(教育・附幼) | 今井 直子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教諭(教育・附小) | 佐藤 昭春 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教諭(教育・附小) | 浅田 鶴予 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教諭(教育・附小) | 佐藤 忍 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教諭(教育・附中) | 熊谷 雅澄 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教諭(教育・附中) | 戸澤 裕香子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教諭(教育・附中) | 石岡 みちよ | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教諭(教育・附中) | 葛原 秀人 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 副校長(教育・特支) | 川口 晃世 | 辞職 |

| | | | |
|------------|---------------|--------|----|
| H28年03月31日 | 教頭(教育・特支) | 古木名 博 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教諭(教育・特支) | 山本 恵利子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 教諭(教育・特支) | 坂本 裕子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 臨床検査技師(病院・医技) | 星合 桂太 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 副看護師長(病院・看護) | 對馬 桂子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 助産師(病院・看護) | 塚本 由理香 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 中嶋 公美子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 對馬 智恵子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 山田 育美 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 清水 真由美 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 山内 奈緒美 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 小笠原 翠 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 加藤 瞳 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 菊池 麻智香 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 野崎 貴明 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 加藤 美貴 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 須藤 早紀 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 齋藤 香奈 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 谷藤 未帆 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 高橋 京子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 阿部 沙椰 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 大沢 美紗姫 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 堀内 加奈子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 勝野 功子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 福士 礼奈 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 飯田 佳琳 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 川村 麻由子 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 九島 結奈 | 辞職 |
| H28年03月31日 | 看護師(病院・看護) | 福原 唯 | 辞職 |

主要日誌

- 3月 2日 平成 27 年度弘前大学学生表彰
- 4日 「弘前大学グリーンカレッジ」平成 27 年度第 2 回ホームルーム
- 〃 弘前大学白神自然環境研究所シンポジウム「自然史情報と市民研究家の活躍」
- 6日 平成 28 年度弘前大学一般入試前期日程 合格発表
- 7日 第 4 5 2 回役員会
- 8日 企画戦略会議
- 〃 教育研究評議会
- 10日 弘前大学理工学研究科と函館工業高等専門学校 学術交流協定締結
- 〃 弘前大学ボランティアセンター活動報告会
- 11日 COC+シンポジウム
- 12日 食料科学研究所『青函の食材を使った料理の魅力「海の幸 青函プラッター」』
- 14日 弘前大学大学院地域社会研究科「国際シンポジウム」
- 〃 第 4 5 3 回役員会
- 15日 経営協議会
- 16日 事務連絡会議
- 20日 平成 28 年度弘前大学一般入試後期日程 合格発表
- 22日 弘前大学永年勤続者表彰式
- 23日 平成 27 年度弘前大学学位記授与式
- 28日 第 4 5 4 回役員会
- 31日 記者会見

学内規則

(平成28年3月15日改正等)

平成27年度適用分

(一部改正)

- 国立大学法人弘前大学職員給与規程
- 国立大学法人弘前大学役員給与規程
- 国立大学法人弘前大学職員の初任給，昇格及び昇給等の基準に関する細則
- 国立大学法人弘前大学期末手当，勤勉手当及び期末特別手当支給細則
- 国立大学法人弘前大学初任給調整手当支給細則
- 国立大学法人弘前大学職員の勤勉手当成績率決定基準

(制定)

- 国立大学法人弘前大学職員給与規程平成28年改正規程の施行に伴う給与の支給等の特例について

平成28年度適用分

(一部改正)

- 国立大学法人弘前大学職員給与規程
- 国立大学法人弘前大学期末手当，勤勉手当及び期末特別手当支給細則
- 国立大学法人弘前大学職員の勤勉手当成績率決定基準

平成27年人事院勧告等に準拠し，俸給表，勤勉手当の支給割合，諸手当の額等について改定するため，上記の規程等を一部改正等した。

(平成28年3月18日改正)

(一部改正)

- 国立大学法人弘前大学情報公開取扱規程
- 国立大学法人弘前大学保有個人情報開示等手続規程
- 国立大学法人弘前大学情報公開・個人情報保護委員会規程

改正行政不服審査法に基づく，独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律及び独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の改正に伴い，以下のとおり上記の規程を一部改正した。

(1) 「不服申立て」及び「異議申立て」を「審査請求」に，「不服申立てに対する決定」及び「異議申立てに対する決定」を「審査請求に対する裁決」に改める。

(2) 審査請求をすることができる期間について，「60日以内」から「3か月以内」とする。

(3) 審査請求の対象に，「開示請求等に係る不作為」を加える。

(平成28年3月18日改正)

(一部改正)

- 国立大学法人弘前大学教育研究院教員選考規程

教育研究院に置く教員選考委員会について，領域長が委員となることを要しないこととするほか，委員

長を委員の互選により選出するものとするため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年3月18日改正)

(一部改正)

○弘前大学入学試験委員会規程

○弘前大学入学試験運営細則

平成28年度から推薦入試を廃止することに伴い、当該事項を入学試験委員会における審議事項から除外するほか、入学試験の実施体制等について見直しを行い、所要の体制整備を図るとともに規程等の体系を整備するため、上記の規程等を一部改正した。

(平成28年3月18日制定)

(制定)

○弘前大学学生特別支援室規程

○弘前大学学生特別支援連絡会議要項

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に伴い、本学の障害のある学生に対する合理的な配慮に係る企画立案及び相談窓口として、「弘前大学学生特別支援室」を設置等するため、上記の規程等を制定した。

(平成28年3月18日制定)

(制定)

○弘前大学における授業科目の履修登録単位数の上限に関する規程

学生の適切な学修時間の確保を目的とした履修登録単位数について、教養教育科目と専門教育科目を統合した上限(48単位)を定め、かつ、全学に適用するため、上記の規程を制定した。

(平成28年3月18日改正)

(一部改正)

○弘前大学研究・イノベーション推進機構規程

研究・イノベーションに関する指導・助言を受けるため、研究・イノベーション推進機構に置くことができるものとしている「戦略アドバイザー」に、産学連携に係るアドバイザーを加えるため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年3月18日改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学における教員の任期に関する規程

任期制適用教員の再任後の更なる任期の更新について、研究分野の特殊性等を考慮し、更新回数制限を撤廃するため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年3月18日改正等)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学管理運営規則

○国立大学法人弘前大学契約職員就業規則

(制定)

○国立大学法人弘前大学研究所長の選考及び任期等に関する規程

研究所長の選考方法を学部長等他の部局長と同様に明確化するとともに、特任教員の選考方法について整備するため、上記の規則等を一部改正等した。

(平成28年3月18日改正)

(一部改正)

○弘前大学大学院学則

大学院医学研究科、保健学研究科及び理工学研究科の入学定員及び収容定員について増員するため、上記の規則を一部改正した。

(平成28年3月18日改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学管理運営規則

○弘前大学学則

○弘前大学の学部及び研究科における教育研究組織の編制等に関する規程

○弘前大学人文学部規程

○弘前大学教育学部規程

○弘前大学理工学部規程

○弘前大学農学生命科学部規程 ほか53件

平成28年4月1日からの学部・学科(課程)等の改組に伴い、改組後の教育実施体制等に関連する学内規則等について以下のとおり整備するため、上記の規則等を一部改正した。

(1) 学部等改組後の教育実施体制に係るもの

- ①人文学部を人文社会科学部とする。
- ②各学部における学科及び課程について規定する。
- ③各学部における学生の入学定員及び収容定員を規定する。
- ④教育研究組織について教育実施体制に合わせ整備をする。

(2) 各学部の教育内容等に係るもの

- ①各学部・学科(課程)における教育研究上の目的について規定する。
- ②各学部における平成28年度からの履修カリキュラム等について規定する。

(3) その他人文学部(長)が人文社会科学部(長)となること等に伴い、関連の学内規則等を整備する。

(平成28年3月18日改正)

(一部改正)

- 国立大学法人弘前大学事務組織規程
- 国立大学法人弘前大学予算管理規程
- 国立大学法人弘前大学会計機関等の事務及び職位等に関する規程
- 国立大学法人弘前大学寄附金受入事務取扱規程
- 国立大学法人弘前大学不動産管理規程 ほか 35 件

事務局に社会連携部，附属図書館に事務部を置くほか，関連の学内規則等を整備するため，上記の規程等を一部改正した。

(平成 28 年 3 月 18 日改正)

(一部改正)

- 国立大学法人弘前大学管理運営規則
- 弘前大学 COC 推進本部規程
- 国立大学法人弘前大学事務組織規程
- 国立大学法人弘前大学予算管理規程
- COC 推進室要項 ほか 16 件

COC+事業の推進・実施体制の整備及び既に実施している COC 事業と併せた事務組織体制の整備を以下のとおり行い，各事業の実施に係る業務をより全学横断的・機動的に遂行するため，上記の規則等を一部改正した。

(1) 事業等の推進・実施体制の整備

①COC 推進本部において，COC 事業に加えて COC+事業の総括等を担うことを規定する。

②COC 推進室が，COC 事業に加えて COC+事業に係る業務を実施することとするほか，室員の構成を改める。

(2) 業務運営体制の整備

①事務局に，部に属さない事務職員として参事役を置き，COC 事業等の事務の総括等を行う。

②専門員等の事務職員について，柔軟な配置を可能とする。

③COC 推進本部を予算部局とするほか，予算管理等について改める。

(平成 28 年 3 月 28 日改正等)

(一部改正)

- 国立大学法人弘前大学リスクマネジメント基本規則

(制定)

- 国立大学法人弘前大学における反社会的勢力に対する基本方針

国立大学法人弘前大学リスクマネジメント基本規則において規定していた「反社会的勢力に対する基本方針」について，内容を充実させた上で，独立した基本方針として制定するため，上記の規則等を一部改正等した。

(平成28年3月30日改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学長の行う承認又は命令権等の委任に関する規程

学長の行う承認又は命令権を委任する部局長に社会連携推進機構長を加えるため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年3月30日改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学職員人事評価実施規程

青森県立学校職員の例により実施している附属学校教員に係る人事評価について、青森県立学校職員の評価に係る規則の改廃に伴い、上記の規程を一部改正した。

(平成28年3月30日改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程

医学部附属病院のMEセンターに勤務する臨床工学技士について、2交代制を導入するため、上記の規程を一部改正した。

弘前大学学報第144号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111